

第54回 京都病院学会
「委員による広報活動の報告」

なぎ辻病院の紹介



- 住所:京都市山科区栂辻東潰5-1
- 許可病床数:169床
- 入院基本料:10対1
- 平均入院患者数:155名

広報委員会発足

- 1) 外来診療等に関わる連絡事項の発信
- 2) ポスター貼付等 総務課が担当していた。

2017年4月、総務課支援として総務課職員を含む各部署職員からなる広報委員会が発足した。

目的：院内活動等を職員に知らせる

広報委員会活動内容

- 1)「病院だより」の発行
- 2)「ホームページ」の見直し
- 3)「面会者への情報提供」
- 4)「ポスターやちらしの管理」
- 5)その他(ペット写真展の開催)

これらの活動は、委員による役割分担とした。
委員会は概ね月1回開催とした。

「病院だより」の発行

第1号～第6号は紙ベースで発行

新人紹介、学会発表、職員旅行、
おやつバイキング、等の院内活動を
年3回発行していた。

1回の発行は8頁～10頁で25部発行。

第7号～第8号(現在第9号準備中)

パソコン上の発信に切り替えた。



ホームページの見直し

外来診療等の連絡事項は従来通り総務部から適時発信されている。

ホームページ全体の見直しは広報委員会が支援することになった。



面会者への情報提供

行政等のポスターやちらし等は主に外来に貼付していたが病棟(3・4・5F)ディルームにラックの設置を提案した。ちらし等や院内糖尿病教室の資料を配置した。

その管理は広報委員が行っている。家族から、ちらしを見て行政主催の介護の勉強会に参加したという意見を聞くことができる。



ポスターやちらしの管理

管理手順

- 1) 行政等からポスターやちらしが配送される
- 2) 広報委員会委員長が貼付の必要性を判断する
- 3) 委員長は稟議書を提出する
- 4) 「決裁後の稟議書とポスターやちらし」は広報委員担当者にまわる
- 5) 担当者は指定箇所にポスターやちらしを貼付する
- 6) 担当者は貼付指定期間に応じ撤去する
- 7) 担当者は稟議書を保管し年度末総括時に報告をする
(貼付枚数は1年間50枚程)
- 8) 担当者は撤去した紙類は再生紙箱へ入れる

その他の活動(ペット写真展 開催)

今年1月に、広報委員会は
おやつバイキング実施日に
合わせ「ペット写真展」を
開催した。
職員に写真データを募り、
広報委員がA4サイズの
写真にして2週間、通行量
の多い廊下の壁に掲示した。



アンケートの実施

2017年4月に広報委員会が発足し
活動をしてきたが、

その目的

「院内活動等を職員に知らせる」

この状況把握のため職員に尋ねることにした。

アンケートの結果1

当院就職1年未満の職員の回答

単位(%) n=26

項目	広報委員会の存在	活動1「病院だより」発行	活動2「ホームページ見直し」	活動3「家族へ情報提供」	活動4「ポスター、ちらし管理」
知っている	38.5	26.9	19.2	3.8	3.8
知らない	61.5	73.1	80.8	96.2	96.2

注: 配布人数155、回答人数111(71.6%)のうち就職1年未満の回答者(23.4%)

当院就職1年以上の職員の回答

単位(%) n=85

項目	広報委員会の存在	活動1「病院だより」発行	活動2「ホームページ見直し」	活動3「家族へ情報提供」	活動4「ポスター、ちらし管理」
知っている	87.1	84.7	58.8	37.6	49.4
知らない	12.9	15.3	41.2	62.4	50.6

注: 配布人数155、回答人数111(71.6%)のうち就職1年以上の回答者(76.6%)

アンケートの結果2

当院就職1年未満の職員の回答 単位(%)		当院就職1年以上の職員の回答 単位(%)	
紙媒体の「病院だより」(第1号～第6号) n=26		紙媒体の「病院だより」(第1号～第6号) n=85	
読んでいた	7.7	読んでいた	69.4
読んでいない	92.3	読んでいない	30.6
病院だより「読んでいた」回答者の頻度 n=2		病院だより「読んでいた」回答者の頻度 n=59	
すべて	0	すべて	23.7
時々	100	時々	76.3
「病院だより」パソコン上に変更(第7号～第8号) n=26		「病院だより」パソコン上に変更(第7号～第8号) n=85	
知っている	0	知っている	47.1
知らない	100	知らない	52.9
当院の「ホームページ」を見ることがあるか n=26		当院の「ホームページ」を見ることがあるか n=85	
定期的に	0	定期的に	4.7
時に	57.7	時に	68.2
まったくない	42.3	まったくない	27.1
「定期的・時に見る」回答者の使用する器具 n=15		「定期的・時に見る」回答者の使用する器具 n=62	
スマートフォン	93.3	スマートフォン	61.3
パソコン	6.7	パソコン	38.7

アンケートの結果3

「ホームページ」の意見（件）

就職年数	回答者数	意見件数
1年未満	26	8（そのうち5件は「わかりやすい」）
1年以上	85	27（そのうち14件は「わかりやすい」）

ペット写真展の感想（件）

就職年数	回答者数	感想件数
1年未満	26	3（そのうち2件は「和む」）
1年以上	85	43（そのうち33件「かわいかった、 癒された、眼の保養、話のネタになった」等）

結果のまとめ：就職1年未満

- 1) 155人の職員にアンケートを依頼し、111人から回答を得た。回答者を就職1年未満と1年以上の職員に分け、就職1年未満は26人(23.4%)であった。
- 2) 各広報活動について、すべての項目に「知らない」をした割合が多かった。
- 3) 当院のホームページを26人中の半数が見ており、ほとんどスマートフォンを使用していた。
- 4) ホームページへの意見やペット写真展の感想の記載は少数であったが、好意的であった。

結果のまとめ：就職1年以上

- 1) 回答者111人中、就職1年以上は85人(76.6%)であった。
- 2) 広報活動について1年未満の職員より周知していたが、患者への情報提供について知っていたのは30%台だった。
- 3) 当院のホームページを回答者の68%がスマートフォンで見ていた。
- 4) ホームページのわかりやすさの意見は半々であった。
ペット写真展は、回答者85人中の約半数が好意的な感想であった。

おわりに

- 広報委員会活動目的「院内活動等を職員に知らせる」は、アンケート結果をみると、就職1年未満の職員へのお知らせが不十分であることがわかった。
- 就職1年以上の職員でも、活動内容によっては十分に周知ができていない状態であることがわかった。
- 朝礼を活用しお知らせをしていたが、その方法を朝礼のみならず、ペット写真展を開催したときのように職員が必ず通る場所にて知らせる等、より効果のある方法を模索する広報委員会の課題が見えた。

ご清聴ありがとうございました。

